

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 池田町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
1	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和19年 3月20日 宮地清流発電所	令和19年 3月20日 宮地清流発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中部電力パワーグリッド株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H28	H29	H30	R01	R02
水力発電	-	-	187	185	263
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	-	-	187	185	263

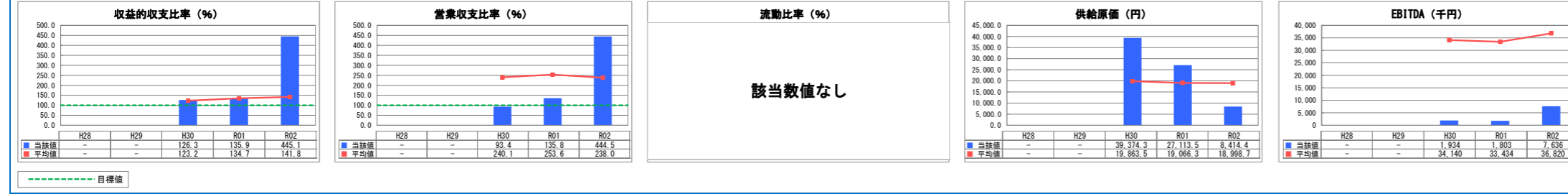
	FIT以外	FIT	合計
年間電灯電力量収入（千円）	-	8,943	8,943

剰余金の用途について（具体的な使用実績事業を記入してください）
小水力発電事業により生じた利益は、将来の施設更新及び大規模修繕基金の積立及び農業集落排水事業への繰出金（処理施設の電気代）に充てている。
小水力発電事業基金積立金：6,336千円
農業集落排水事業特別会計への繰出金（処理施設の電気代）：1,300千円

分析欄

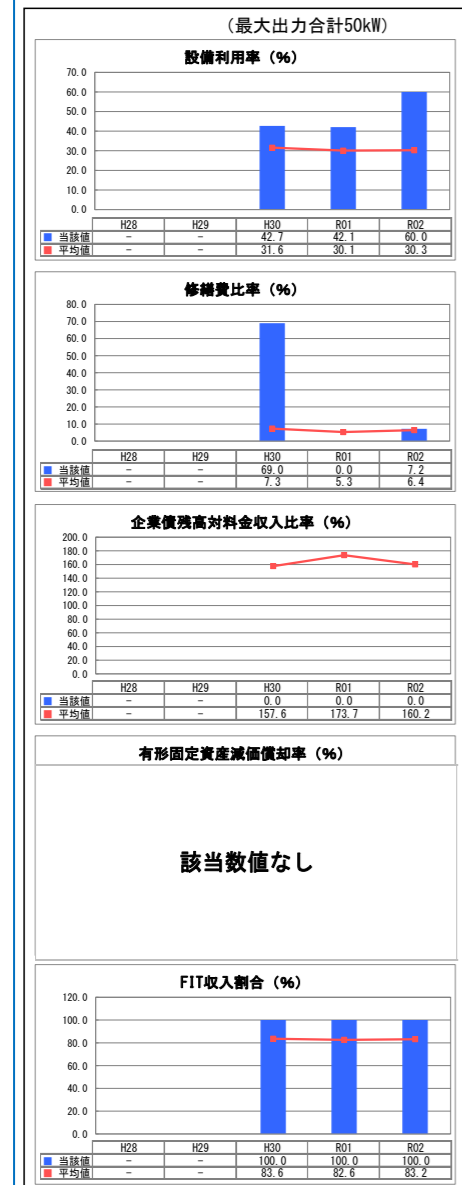
1. 経営の状況について  
 収益的収支比率は100%を上回り、収支は黒字である。営業収支比率においても100%を上回り、営業収支は黒字である。昨年度と比較すると、収益的収支比率、営業収支比率ともに約3.3倍となっている。これは降水量の増加に伴い、料金収入が増加したことによるものである。供給原価は平均値の約0.4倍であり、昨年度の約1.4倍の数値から改善され、効率的な売電ができてきているといえる。EBITDAは前年度の約4.2倍となり、収益性が改善された。これらのことから、経営の健全性は確保されている。

## 1. 経営の状況

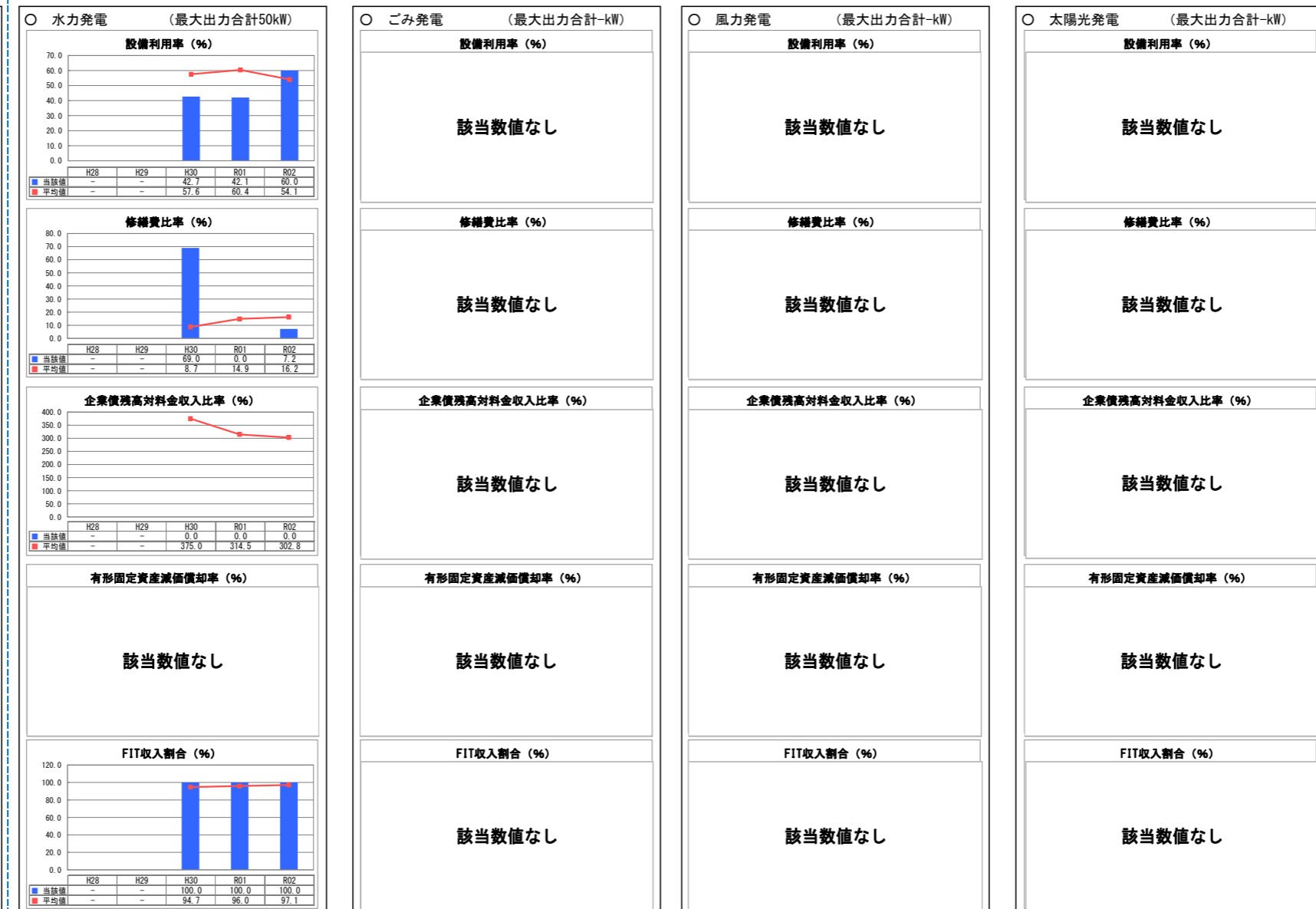


## 2. 経営のリスク

### ●施設全体



### ●発電型式別



## 2. 経営のリスクについて

設備利用率は60.0%で、発電型式別設備利用率の平均値である54.1%を上回っており、前年度と比較して約1.4倍となっている。これは降水量の増加に伴い、年間発電電力量が増加したことによるものである。修繕費比率は7.2%であるが、維持管理費として使用したものであり、発電所施設の老朽化による修繕ではない。

### 全体総括

現状において全ての数値が改善しており経営の健全性は確保されている。また、令和2年度に策定された経営戦略により、更に効率的な発電を行う。

※平成28年度から令和2年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT収入割合については、令和2年度の団体数を基に平均値を算出しています。